

教科名 (科目名)	芸術Ⅲ 美術Ⅲ	履修学年	3 年	学科	普通 (SC) 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

美術Ⅰ・Ⅱで育成した資質・能力を総合的に働かせ、主体的・発展的な造形活動を通して、造形的な見方・考え方を一層深化させ、生活や社会の中の美術や美術文化と創造的に関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

①主題の設定から発想・構想、表現、振り返りに至る一連の過程を自律的に探究し、独自の表現を追求する高度な技能を身に付けることができる。

②作品や美術文化について、歴史的・社会的文脈を踏まえて多角的に考察し、自らの価値観を形成しながら、深く鑑賞することができる。

③主体的に美術の活動に取り組み、創造することの意義や価値を自覚し、美術を通して社会に働きかけたり、よりよい生き方や社会の在り方を考えたりする態度を養うことができる。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	造形的な要素や美術の理論、表現方法について総合的・発展的に理解し、高度な技能を活用し、意図に応じて表現方法を自在に選択・組み合わせている。また、制作の全過程を自律的に構想・調整し、独自性のある完成度の高い作品を創造している。	自ら課題や主題を見出し、探究的に発想・構想を深めている。また、作品や美術文化を、歴史・社会・文化的背景と関連付けて多面的・批判的に考察し、試行錯誤や振り返りを通して、自らの表現を発展させる、新たな価値を創出している。	主体的かつ継続的に美術の活動に取り組み、自らの表現を粘り強く追求している。また、美術を通して自己の在り方や生き方を見つめ、社会との関りを深めようとし、美術や美術文化の価値を理解し、それらを社会の中で創造的に生かそうとしている。
評価方法	○学習プリント ○作品	○学習プリント ○作品 ○対話的活動	○学習プリント ○対話的活動

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB BBC (ACC)	3
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

教科書 (高校生の美術3)	参考作品
学習プリント	動画教材 他

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書と参考作品・動画教材を使って学習を進める。

○表現領域では、技術習得と表現の工夫とのバランスを図りながら学習する。

○鑑賞領域については表現領域とのバランスを図りながら随時学習する。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度	
1 学 期	4月	オリエンテーション 美術史（デザインの歴史）	作品	作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動	
	5月					
	6月	デザイン （レコードジャケット）		作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動	
	7月					
2 学 期	8月	美術史（絵画の歴史）	作品 学習プリント	作品 学習プリント 対話的活動	学習プリント 対話的活動	
	9月					
	10月	絵画 （3年間の思い出）			作品 学習プリント 対話的活動	作品 学習プリント 対話的活動
	11月					
	12月					
3 学 期	1月	鑑賞			作品 学習プリント 対話的活動	
	2月					
	3月					